

局地的豪雨や台風への準備と有事の際に迅速な行動を

低（事態の深刻度）
高

避難勧告などの種類と住民に求める行動

情報の種類	発令時の状況	住民に求める行動
避難準備情報	人的被害が発生する可能性が高い	高齢者など、避難に時間がかかる人は避難開始
避難勧告	人的被害が発生する可能性がさらに高い	避難所へ速やかに避難開始（または高いところへ移動）
避難指示	災害の前兆現象が発生し切迫している	避難が完了している



無理な避難をしない「垂直避難」も有効

夜間や雨脚が強い状況下での子どもや高齢者、足腰が不自由な人などの避難は、大変危険です。無理に避難所へ移動せず、住宅の2階など、高いところへの避難（垂直避難）も有効です。

*河川の近くや土砂災害の危険区域にお住まいの方は、避難所への避難を優先してください。

避難の呼び掛け手段

市からの避難の呼びかけ（避難勧告などを発令）は、同報無線や市ホームページのほか、「緊急速報メール」（NTTドコモでは「エリアメール」と呼ぶ場合があります）で実施します。緊急速報メールは、皆さんの携帯電話へ強制的に送信されますので、災害発生の危険度が高くなったりなどには、このメールに注意してください。

なお、受信拒否設定となっている場合や、一部の携帯電話には緊急速報メールが届きませんので、受信設定や機能の有無などについては、携帯電話会社へ問い合わせください。

一步は「情報収集」です。
天候の推移や河川の状況など、最新の情報を把握することで、避難の準備や心構えができる、市から避難の呼びかけがあったときには、すぐに避難ができます。家庭や地域では、地上デジタルテレビのデータ放送や、インターネットから最新の情報

平常時から、河川の決壟や氾濫がおきたときの想定（ハザードマップ）や土砂災害の危険箇所を把握し、自宅周辺

自宅や地域の危険個所と避難先の確認を

や地域の危険個所を把握しておることで、いざ避難となつたとき、危険な場所を避けて安全に避難できます。
また、避難先も家族で確認しておきましょう。
市ホームページで、平常時

市からの呼びかけで迅速な避難を

報が分かります。

から災害に備えるためのさまざまな情報をお知らせします。
市では、河川の決壟や氾濫を想定した「牧之原市洪水ハザードマップ（洪水避難地図）」を全戸配布しています。このハザードマップは、市ホームページからも閲覧できます。また、県が順次調査を進めている市内の土砂災害危険箇所（区域）も、同じページから確認できます。

牧之原市 洪水ハザードマップ で検索

平常時から区や町内会の避難地を確認しておきましょう。

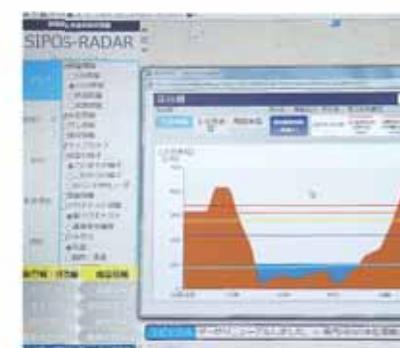
牧之原市 お住まいの避難地 で検索



地上デジタルテレビのデータ放送

地上デジタルテレビのリモコンの「d」ボタンから、データ放送の防災情報（天気予報や降雨状況、河川水位など）が見られます。（「d」ボタンは、テレビの機種によって配置が異なります）

*河川水位はSBS（静岡放送）、NHK（日本放送協会）のみの提供です。



インターネットによる情報収集

気象庁 <http://www.jma.go.jp>
雨雲の動き、台風の勢力や進路のほか、土砂災害などに関する防災情報が提供されています。

サイボスレーダー <http://sipos.pref.shizuoka.jp>
県が運営するホームページで、萩間川や勝間田川、坂口谷川の水位情報などが確認できます。

